

招 集 期 日	平成 2 9 年 7 月 2 0 日 (木)		会議の場所	教育委員室
会議の時刻 及び宣告者	開会の時刻	午前 1 0 時 0 0 分	開 会 者	教 育 長
	閉会の時刻	午前 1 1 時 3 5 分	閉 会 者	教 育 長
委 員 出 席 状 況				
氏 名	摘 要	氏 名	摘 要	
秋 本 文 子 教 育 長	出 席	柿 沼 拓 弥 委 員	出 席	
古市明教育長職務代理者	出 席	高 瀬 賢 一 委 員	出 席	
春 山 教 子 委 員	出 席			
議 事 参 与 者 及 び 説明のための出席者	佐藤学校教育部長	赤坂生涯学習部長	橋本教育総務課長	細村学校教育課長
	小島学校給食センター所長	岡田生涯学習課長	山木スポーツ振興課長	奥野図書館長兼郷土資料館長
書 記 名	教育総務課総務係 小林			
会議事件名	て ん 末			
開会		7 月定例教育委員会を開会		
	教育長	<p>教育委員会の会議は公開が原則であるが、人事に関する事件、その他の事件については、出席委員の 3 分の 2 以上の多数で議決した時は、公開しないことができることとなっている。本日の日程の中で議案第 39 号については、教科用図書の採択に関するもののため、議決部分について非公開としてよろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p> <p>議案第 39 号の議決部分については非公開とする。</p>		
日程第 1 前回会議録の承認	教育長	6 月定例教育委員会の会議録の承認について諮った。		
	教育長	異議なしの声あり		
	教育長	前回会議録は、承認された旨宣した。		

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第 2 報告事項 1 平成 29 年 6 月 定例市 議会提出(教育委員会 関係)議案等について</p>	教育長	<p>報告事項 1 について、生涯学習部長並びに学校教育部長から説明を求めた。</p>
	生涯学習部長	<p>中島直樹議員より、議案第 24 号平成 29 年度羽生市一般会計補正予算（第 1 号）のうち、桑崎砂丘標柱及び説明板設置工事請負費 58 万円の整備内容について質疑があった。桑崎砂丘が今年 3 月 24 日に埼玉県指定文化財の天然記念物に指定されたことを受け、県指定であることを標示する石造の標柱を 1 基、桑崎砂丘の存在とその意義について解説する説明板を 1 基、指定地である桑崎三神社内の人目につき易い場所に設置する旨を答弁した。</p>
	学校教育部長	<p>中島直樹議員より、羽生市入学準備金貸付条例の一部を改正する条例について議案質疑があった。平成 8 年の制度開始後、市民が利用しやすいよう、申請時期の見直しや貸付額と償還期間の見直し、制度の周知徹底を行ってきたが、近年の申請が少なく、平成 27 年度では申請が全くなかったことから、制度の見直しについて検討したこと、また、卒業まで償還猶予可能とし、利用しやすいように条例を改正するものであることを答弁した。</p> <p>柳沢暁議員より、算数セットなどの学用品の学校購入、貸し出しについて一般質問があった。1 点目の、「算数セットや彫刻刀などの学用品を学校で購入し、貸し出しすることについての見解」については、彫刻刀の貸し出しを行っている学校は無く、算数セットについては市内小学校 1 校で貸し出しをしていること、他 10 校は個々に保護者に購入していただいているが、すべての学校で家庭にあるものを利用したり、近所から借りたり、譲り受けたりしたものを利用してよい旨を、入学説明会の際に説明していること、各学校の規模や状況等をふまえ、学用品の学校購入、貸し出しについては各学校の判断にゆだねるのが良いと考えていると答弁した。2 点目の、「算数セットや彫刻刀などの学用品を学校で購入する場合の費用に」については、算数セットは 2,800 円で、1、2 年生の算数で使用し、今年度の 1 年生の合計人数が 404 名のため、市全体では 1,131,200 円となること、彫刻刀については、</p>

会議事件名	て ん 末
	<p>平均 2,000 円で 4 年生の図工から使用し、今年度 4 年生が 441 名のため、市全体で 882,000 円となること、30 センチものさしは、160 円であり 2 年生の算数から使用し、今年度の 2 年生は 416 名のため、市全体では 66,560 円となることを答弁した。</p> <p>中島直樹議員より、市内公共施設及び小・中学校のサッカーゴール・ハンドボールゴール等の安全対策について一般質問があった。1 点目の、「福岡県大川市で起こった事故後の羽生市教育委員会の対応」については、平成 29 年 1 月 16 日付で、市内全ての小中学校に対し、「ハンドボール等のゴールの転倒による事故防止のための措置について」の通知を送付し、施設設備等の確実な点検の実施と、事故防止のための措置について、埼玉県教育委員会からの通知を添えて即時に指導をしたこと、全小中学校に出向き、事故防止のための措置が確実に実行されていることを確認したこと、公共スポーツ施設については、サッカーゴールが設置されている全てのグラウンドについて、利用団体等に使用状況の確認を行い、現場点検を実施したと答弁した。2 点目の、「市内公共施設及び小・中学校に設置されているサッカーゴール・ハンドボールゴールなどの転倒防止対策」については、市内全ての公共施設及び小・中学校では、サッカーゴール・ハンドボールゴールの転倒防止対策を講じており、常時設置している箇所については、アンカーで固定しており、使用する際に都度、設置する場合は、使用時に必ずアンカーを設置するよう、使用者にお願いしていること、市内全小・中学校では、管理職による施設設備の日常の安全点検の他、月に 1 回、全教職員で点検を実施しており、安全に使用できる状態かを複数の目で確認していること、さらに点検を確実なものとするため、年に 1 回、業者委託により、プロの目で安全点検を実施していること、羽生市体育館及び羽生中央公園では、毎朝職員が巡回により施設の状態を確認するとともに、地区グラウンドや大沼グラウンド、東雲グラウンドについては、月 1 回、職員が巡回し確認をしていると答弁した。3 点目の、「サッカーゴール、ハンドボールゴールへの安全対策・安全確認に統一の基準を設けることに対する羽生市教育委員会の見解」については、現在市内に設置しているサッカーゴールやハンドボールゴールは、大きさ、素材や重量、設置する場所の地質等がそれぞれ異なるため、固定具の数や大きさについて、一律の基準は設けていないが、小・</p>

会議事件名	て ん 末
	<p>中学校においては、地面に接している 3 面を確実にアンカーで止めるよう指導していること、さらに学校管理訪問の際に埼玉県教育委員会から示された施設設備のチェックポイント項目や、業者委託の安全点検で示された遊具・器具等の点検指針を基に、定期的な点検はもちろん、使用前、使用後にも安全点検を実施しており、修繕や部品交換が必要な場合は、教育総務課が窓口となり、即時対応できる体制を整えていること、公共スポーツ施設については、緊急性を考慮し、修繕等の対応をしていると答弁した。</p> <p>中島直樹議員より、学校のプールの今後について一般質問があった。市内の小・中学校では、学習指導要領に明記がないものの、年間 10 時間程度を目安に水泳の授業を実施しており、プールの利用日数は、小学校で約 40 日、中学校では約 30 日を予定しているが、天候や気温、水温の状況により、実際の利用日は、その約半分の日数にとどまっていること、プール施設は、14 施設中 8 施設が設置後 30 年以上経過しており、プール槽、濾過器をはじめ、各所に老朽化が見られ、不具合をその都度修繕し、施設を稼働させている状態であり、水道料金や薬品類、設備の点検委託料といった費用と合わせると、1 校当たり年間約 100 万円の維持管理費用となっていること、短い期間で多額に費用がかかるプール施設については、羽生市が定める公共施設等総合管理計画を進めて行くうえで、大きな課題であると捉えているが、水泳の指導は必要と考えており、全国の事例を参考に、とるべき方針を模索していきたいと考えており、当面の間は節水に努め、費用の掛からない修繕方法を選択し、プール施設を維持していきたいと考えていること、プール施設が使用に耐えない状態となった学校については、近くにある学校のプールを使用することについて、児童生徒の安全面や、移動方法を検討し、円滑に移行できるよう準備を進めたいと考えていること、今後は市の財政状況を常に意識し、関係各部と連携を図りながら、プール施設の計画及び管理・運営に努める所存であると答弁した。</p> <p>永沼正人議員より、羽生市いじめ問題調査審議会について一般質問があった。1 点目の、「開催状況について」は、平成 26 年度より年に 1 回、羽生市の現状や審議会の意義等について確認するために開催しており、その他重大事態が発生した場合は臨時に開催することになっているが、臨時会の開催はこれまで一度もない</p>

会議事件名	て ん 末
	<p>と答弁した。2点目の、「現状の審議会委員、会長について」は、審議会委員は5名であり、医師が1名、弁護士が1名、PTA関係者が1名、識見を有する者として、大学で講師を務める臨床心理士、羽生市人権擁護委員の2名であり、会長は委員の互選により、弁護士の委員が務めていると答弁した。3点目の、「識見を有する者、その他教育委員会が必要と認める者の選定基準はあるのか」、4点目の、「羽生市いじめ問題調査審議会は第三者調査委員会としての独立性が担保されているか」については、平成25年10月11日文部科学大臣決定「いじめの防止等のための基本的な方針」、平成26年1月には、「埼玉県いじめの防止等のための基本的な方針」が示され、それらを受けて、平成26年12月「羽生市いじめの防止等のための基本的な方針」を定めており、その中で、「組織の構成は、調査の公平性・中立性を確保するため、学識経験者、心理や福祉の専門家等の専門的知識及び経験を有する者」とあり、委員を委嘱する際の選定基準としていること、また、「当該いじめ事案の関係者と直接の人間関係又は特別の利害関係を有しない者（第三者）とする。」とも定められており、第三者調査委員会としての独立性が担保されるよう、リーダーシップは、会長にあたる委員が執っていると答弁した。5点目の、「取手市の問題、第三者委員会解散について、羽生市教育委員会の見解について」は、取手市教育委員会の対応は、いじめ対策に関する危機管理意識が不十分だったと捉えていること、取手市の件を受け、改めて校長研究協議会等で説明・周知し、「いじめ防止」「早期発見」「いじめに対する措置」等を見直すよう図っていくこと、「埼玉県いじめの防止等のための基本的な方針」の改定を受け、「羽生市いじめの防止等のための基本的な方針」の改定を進めていくと答弁した。</p> <p>生涯学習部長 丑久保恒行議員より、「2020年東京オリンピック・パラリンピックに羽生市はどのようなPR活動を実践するのか」について一般質問があった。2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催は、海外の選手団や関係者、観光客を羽生市へも呼び込む、大きなきっかけの一つとして捉えており、事前キャンプ誘致をはじめとし、市民のオリンピック機運の醸成を目指し、オリンピックエンブレムにちなんで作成した市松模様のうちわを配布するなどの取組を行っている。去る5月31日から6月6日にかけて、ベ</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項2 平成29年羽生市教育委員会後援名義の承認等の状況について(1月～6月分)</p> <p>報告事項3 平成29年度羽生市人権教育研修会の開催について</p>	<p>教育長</p> <p>教育総務課長</p> <p>教育長</p> <p>生涯学習課長</p>	<p>ルギー王国のデュルビュイ市を、市長、スポーツ振興課長ほか3名で訪問した。その行程の中で、ベルギーオリンピック委員会の関係者に面会し、東京オリンピック・パラリンピックに出場するベルギー選手団が、事前キャンプ地として羽生市に訪れていただけるようプレゼンテーションを行った。また、オリンピック・パラリンピック終了後などにおいての、スポーツを通じた交流の推進を提案してきた。現時点では、正式な回答ではないが、数ある候補地の一つとして検討するとの話をいただいている。事前キャンプの候補地は、施設が充実している大学などが有力視され、国際基準を満たしていない本市の施設では非常に厳しい状況ではあるが、姉妹都市としての関わりをキーワードとして調整を進めるとともに、各種人脈の繋がりを模索して、事前キャンプ地誘致のため取り組んでいる。今後とも国や県の動向に注意しつつ、国に対し「ホストタウン」の登録申請を継続的に行い、姉妹都市との交流を深めるうえでも、スポーツを通じた異文化交流の実現に向け、努める旨を答弁した。</p> <p>報告事項2について、教育総務課長から説明を求めた。</p> <p>教育総務課では教育長の交付が1件、学校教育課では、教育長賞が1件、後援名義の使用が5件、生涯学習課では、教育長賞の交付が1件、後援名義の使用が14件、スポーツ振興課では、教育長賞の交付が2件、後援名義の使用が15件あった。</p> <p>報告事項3から7について生涯学習課長から説明を求めた。</p> <p>8月4日に、羽生市文化ホール小ホールを会場として開催する。参加人数は380人程度を見込んでいる。市内小・中学生による人権作文発表の他、「6歳のお嫁さん」の著者である鈴木中人氏を講師に迎え、「いのち授業～いのちを大切にすること」を題し講演を行っていただく予定である。</p>

会議事件名	て ん 末	
報告事項4 夏休み子どもクール シェアについて	生涯学習課長	<p>平成 28 年度に始まった事業であり、今年は 2 回目である。対象は、羽生北小学校、羽生南小学校の児童とし、8 月 7 日から 9 日までの 3 日間、中央公民館を会場として開催する。NPO 法人羽生子育てサポートキャロットと中央公民館が主催する。「学習タイム」、「ランチタイム」、「リラックスタイム」の 3 部構成であり、定員は 1 日につき 50 名、費用は昼食代として 1 日 100 円である。</p>
報告事項5 夏休みクールシェア inかわまたについて	生涯学習課長	<p>今回初開催であり、対象は川俣小学校児童・川俣地区在住の親子とし、8 月 17 日に、川俣公民館を会場として開催する。NPO 法人羽生子育てサポートキャロットと川俣公民館が主催する。内容は、午前 10 時～午前 11 時 50 分までが、保護者を対象とした「食育講座」と児童を対象とした「学習タイム」の後、「ランチタイム」、「リラックスタイム」を実施する。定員は 20 組、費用は子どもが 100 円、大人が 300 円である。</p>
報告事項6 高校生インストラク ター講座「みんなの パソコン教室」の開 催について	生涯学習課長	<p>9 月 9 日に、羽生実業高校コンピューター室を会場として開催する。講師は羽生実業高校コンピューター部部員 8 名、講座内容は、「みんなのパソコン教室」と題し、オリジナルのカレンダーや年賀状づくりを行う。参加対象者は、市内在住、在勤、在学の方で、小学生は保護者同伴が条件となる。募集人員は 20 名、参加費は無料である。</p>
報告事項7 羽生市市民講師登録 制度の運用開始につ いて	生涯学習課長	<p>平成 28 年度の職員提案により、始まる事業である。趣旨は、市民の専門的な知識や技術・技能の学習成果を生かし、講座・教室等の講師として活躍していただくものである。登録者は、羽生市内に在住・在勤の 20 歳以上の方で、政治目的・宗教目的・営利目的ではなく、専門的な知識や技術・技能を身に付けていて、生涯学習活動に積極的に関わる熱意のある方である。登録方法は、市生涯学習課または公民館へ登録用紙を提出し、登録期間は登録日が属する年度の初日から数えて 3 年間である。紹介申込者は、市内に活動の拠点を置く 5 名以上の団体、政治目的・宗教目的・営利目的ではないこと、この制度の趣旨に反しない生涯学習講座等</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項8 第46回羽生市少年野球大会の結果について</p> <p>報告事項9 日本フロアカーリング協会公認 全国フロアカーリング大会in羽生の結果について</p>	<p>教育長</p> <p>スポーツ振興課長</p> <p>スポーツ振興課長</p>	<p>を開催する場合に限る。申込方法は、講座開催日の1カ月前までに生涯学習課に申込書を提出することとし、事務局で調整を取れたら、紹介決定通知書にて申込者に通知する。講座・教室等の終了後は、利用者は講座の実施報告書を事務局へ提出する。講座の場所は、申込者が用意する公民館等の市内公共施設とし、講師謝金は、利用者の負担となる。講師の専門分野について、「衣・食・住・くらし」「趣味・芸術」「健康・スポーツ」「親子・子ども向け」「その他」の5ジャンルに分類し受付を行う。</p> <p>報告事項8から10について、スポーツ振興課長から説明を求めた。</p> <p>6月10日、11日の2日間に渡り羽生中央公園野球場及び自由広場において開催した。市内小学生男女、6年生以下の選手134名で9チームの参加があった。試合結果については、優勝が川俣ホエールズ、準優勝が新郷マリナーズ、第3位がスラッガークラブ及びM2ツイスターズとなり、最優秀選手賞、優秀投手賞、優秀選手賞、敢闘賞の個人表彰を行った。各チームの協力によりスムーズに開会を進行することができ、トップアスリート育成事業の野球教室の成果もあってか、各試合とも熱戦が繰り上げられた。</p> <p>6月17日に、羽生市体育館にて開催し、108チーム397名の参加があった。競技は、全18コートでリーグ戦による予選を行い、予選の順位ごとにトーナメント戦により決勝戦を行った。市外から48チームの参加があり、8歳の小学生から90歳まで、幅広い年齢層が一体となり、和やかな雰囲気の中、盛大に開催することができた。回を重ねるごとに競技がレベルがアップしており、特に1位グループの決勝戦は見応えのある白熱した試合であった。競技終了後の「お楽しみ抽選会」も大変盛り上がった。</p>

会議事件名	て ん 末	
報告事項10 平成29年度トップアスリート育成事業 羽生市剣道教室の開催について	スポーツ振興課長	未来のトップアスリートの育成を図るため、6月に実施した野球教室に引き続き、羽生市体育協会、羽生市剣道連盟、スポーツ少年団本部等の協力により開催する。8月20日に羽生市体育館を会場とし、指導者は埼玉県剣道連盟に所属する4名を予定している。対象者は、市内小中学校及び高校の児童・生徒及び各団体の指導者や保護者とし、剣道具を持っていない方も参加できる。
	教育長	報告事項に関して質問・意見を求めた。
	春山委員	羽生市市民講座登録制度について、とても良い取組みであると思うが、登録する講師はどのような方を想定しているのか伺いたい。
	生涯学習課長	これから募集するため、具体的ではないが、イメージとしては、ある公民館で開催している講座で講師となっていて教えている方に登録していただき、他の場所でも教える等、講師として広く活躍していただきたいと考えている。
	教育長	市民の中から優秀な講師を発掘して、専門的な知識や経験を、羽生市に還元していただきたいという趣旨で始まる。
	古市委員	夏休みクールシェアについて、今年度から川俣地区でも実施することのことだが、ボランティア精神のある人達が結集し、良い取組がはじまっていると思う。活動主体の羽生子育てサポートキャロットがとても頑張っているが、苦労も多いと思われる。せっかくの取組であるので、疲れてしまい活動が下火になることが非常に恐い。運営する側に次々と新戦力が入ってくるような仕組みを、早くから構築した方が良いと思われる。
生涯学習課長	今回は、中央公民館図書ボランティア、羽生地区食生活改善推進員等、協力していただく方々も増えている。また、自治会等にも声を掛け、見に来ていただいたりしている。去年は、3日間で延べ138名の参加があり、アンケートの結果も好評であった。運	

会議事件名	て ん 末	
	<p data-bbox="480 573 596 607">春山委員</p> <p data-bbox="480 1435 568 1469">教育長</p> <p data-bbox="480 1771 596 1805">柿沼委員</p>	<p data-bbox="619 286 1447 510">営側にとっては、子ども達の楽しかったという感想への喜びと、数団体が協力し、ゼロから事業を達成することができたという充実感があり、今年度の開催に繋がったものである。十分な人手を手配することについては、生涯学習課としても力を注いでいきたい。</p> <p data-bbox="619 573 1447 1368">子ども達の夏休みが大きく様変わりしている。昔は外に出て一日中遊んで、沢山の体験をしていたと思うが、今は外に出て遊ぶことが大変少なくなっている。部屋の中にももっているのは夏休みをどのように過ごしているかが外からは見えない。仕事をする親が増えて、食事の面でもどうなっているか分からない。沢山の問題が夏休みにあると感じた。昨年度クールシェアを実施してみて、保護者にとっては、子どもの面倒を一日みてもらえることは、とても有難いということであり、子どもにとっても、異年齢の子ども達と触れ合えることはとても楽しいようである。しかし、昼間一人で家に残り残されている子ども達に来てもらいたいと思っても、なかなか手が届いていないのではないと思われる。今年は民生委員にも呼びかけ、そのような子どもがいたら、声をかけて、参加を促してもらえよう依頼した。地域で子どもを育ていくことができるよう、この事業を続けていきたい。古市委員から意見があったが、若い人達に参加してもらうため、高校生や大学生に呼びかけることも大事なことであると思う。教育や子育て、福祉分野に関心や志を持つ学生の協力を得られると良い。</p> <p data-bbox="619 1435 1447 1704">川俣地区で「ムジナもん学寮」という宿泊合宿があり、そこに協力していただいた埼玉純真短期大学の学生から、子ども達と朝から夜まで関わり、子どもに対する対応の難しさや喜びを感じたという話も聞いたことがある。羽生市では、「学びあい夢プロジェクト」の事業を通し、幼・小・中・高・大が効果的に連携している。そのようなところでもクールシェアのことを伝えていきたい。</p> <p data-bbox="619 1771 1447 1939">昨年度のクールシェアで、食事の時間にキャロットの方が子ども達に「ご飯は残さず食べてね」と一生懸命声掛けをしていた。勉強や遊びの場を提供するだけでなく、ご飯に対する感謝の気持ちを持てる、そのような意義のある事業だと感じた。</p>

会議事件名	て ん 末	
	柿沼委員	市議会の学校プールの今後についての答弁で、現在 14 校のうち 3 校ではすでに改修を行っているということであるが、どの学校であるか。
	教育総務課長	西中学校、羽生北小学校、新郷第二小学校でプール槽の改修を実施している。
	柿沼委員	教育委員会の会議でも話題になったことがあるが、プールの今後については、より具体的な話を進めた方が良いと思う。
	教育長	今回の答弁では、使えるものはそのまま使うが、大掛かりな修繕が必要な場合は、施設を廃止する決断を下すことについて触れることができた。教育委員会の中で話題となっていたことにより、方針を整理できたことは本当に有難いことである。維持管理コスト等の具体的な数値も出たので、教育委員会事務局として、この課題についての検討を具体的に進める機会であると認識している。
	古市委員	東京オリンピック・パラリンピック開催における民泊の対応は、あくまで選手についてであると思われるが、選手以外の観客、観光客の宿泊はどのように考えているか。
	スポーツ振興課長	現時点では、まずは選手団を呼び込む手立てを模索している。しかしながら、最終的には選手の家族や観光客等も視野に入れて進めなければいけないと考えている。市内ではルートイン羽生以外の民間の宿泊施設は多いわけではない。民泊については法整備等進めている中で色々問題もあるようなため、慎重に考えていかなくてはならない。国の動向を見ながら、検討していきたい。
	教育長	報告事項については、よろしいか。 異議なしの声あり

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第3 協議事項1 平成29年度(平成28年度事業対象)羽生市教育委員会の事務事業に関する点検評価報告書(案)について</p>	<p>教育長 教育総務課長</p>	<p>協議事項1について教育総務課長から説明を求めた。</p> <p>昨年度の教育委員会の事務事業について、法に基づき点検評価を実施した。本報告書については、教育委員会での協議を経て、議会に提出するとともに公表を義務づけられているものである。昨年度の点検評価と相違する点や重点項目については次のとおりである。</p> <p>1 信頼される学校づくりの推進 (1)生きる力をはぐくむ学校教育の推進については、「羽生市フューチャースクール研究事業」、「プレゼンテーション能力育成活動事業」、「特別の教科 道徳」等についての成果を確認した。(2) 教師力・学校力の向上については、若手教職員の指導力の向上の意識を高めたり、意欲的な研究がなされ授業向上が図れた。(3) 学校・家庭・地域の三者協働による学校づくりについては、「地域人材による学校支援事業」及び「羽生市コミュニティスクール推進委員会」等を通しての、地域と学校との連携を促進した。(4) 学校給食の充実と食育の推進については、羽生産米の他、地場産の食材を使用した季節感のある給食の提供、給食試食期の実施、学校給食センターの設備の計画的な更新等に取り組んだ。(5) 教育環境の整備・充実については、コンピュータネットワーク等の整備に伴い、情報管理の把握、教職員の危機管理意識の向上に取り組んだ。学校図書においては、平成24年度から実施している5ヵ年計画に基づき、学校図書館図書標準の達成率を、全学校において90%以上とすることができた。</p> <p>(6) 安全・安心な学校づくりについては、新郷第一小学校の大規模工事をはじめ、運動施設等の整備を行った。また、全小中学校に防犯カメラシステムを導入することが出来た。(7) 高等教育機関等との連携については、「学びあい夢プロジェクト」における合同出前事業の実施や、保護者に対する入試・学校説明会を実施した。</p> <p>2 人権を尊重する教育の推進 (1)学校における人権教育の推進については、教職員研修の充実、指導内容・指導方法の工夫、改善等に取り組んだ。(2) 社会教育における人権教育の推進については、基本的人権が尊重される社会の実現を目指し、子どもから高齢者まで幅広く組織的・計画的に各種事業を展開した。(3) ノー</p>

会議事件名	て ん 末
	<p>マライゼーションの理念に基づく教育の推進については、関係各機関やと地域・家庭と連携し、障がいのある人やその家庭に対する理解を深めた。</p> <p>3 生涯学習の推進と文化活動の活性化 (1) 市民の学習機会の充実については、公民館における地域の特色を活かした講座、NPO法人との協働による子育て支援に関する講座、岩瀬グローバルタウン構想推進のソフト事業としての英語講座、高校生インストラクター講座、子ども大学はにゅう等、様々な講座や事業を展開した。(2) 生涯学習環境の整備・充実では、各公民館の事業により一層の地域コミュニティが推進された。(3) 図書館・郷土資料館の充実では、図書館においては、実演を交えながら楽しく学ぶ、読み聞かせの講座を開催し、貸出冊数の増加に繋がった。また、開館 30 周年を記念して開催した「図書館・郷土資料館まつり」では、8,500 人もの来場者があった。(4) 文化財の保護・活用と芸術文化の振興については、国指定のムジナモ自生地 of 保全、国指定 50 周年記念の特別展の開催等を実施し、永明寺古墳に関し発掘調査報告書の発刊、郷土芸能発表等では、「羽生市こども歌舞伎保存会」の復活など、後継者の育成に弾みをつけた。(5) 青少年の健全育成の推進については、学校の協力を得て「放課後子ども教室」を実施する等、地域のコミュニケーションの向上に努めた。</p> <p>4 生涯スポーツの振興 (1) スポーツに親しめる環境づくりについては、老朽化施設の更新等を行い、より快適な空間を提供することができた。(2) スポーツ・レクリエーション機会の提供については、市民体育祭において 30 回記念大会を開催し、県警音楽隊や大東文化大学陸上部による小・中学生抵抗リレーなどのデモンストレーションを行った。(3) スポーツ・レクリエーション団体の育成では、青少年スポーツ団体の育成のため、各種競技の大会や、スポーツ少年団野球部会の市内外団体との交流大会等を実施した。(4) 優秀なスポーツ選手の育成では、野球、バスケットボールの教室を開催した。</p> <p>これらの事業展開に対し、一つ一つ評価を行い、学識経験者として、埼玉純真短期大学の藤田学長より意見をいただき、報告書をまとめた。</p>

会議事件名	て ん 末	
	教育長	協議事項1について質問・意見を求めた。
	古市委員	報告書を見ると各部門で本当に頑張っていることが良く分かる。取り組んだ事業において、できていること、やっていることが記載されているが、ここに現れていない、できていないこと、まだやっていないことに目を向けることが一番大切であると思う。それぞれが担当分野において視野を広げて、次につなげていていただきたい。
	春山委員	資料編に児童・生徒数の推移が掲載されているが、子ども達の数は確実に減っていることが見てとれる。学校プールの今後についての問題も関係してくると思うが、今後は子育てや教育のことを市政の重点として掲げていく必要がある。だとすれば、大きな計画を立てるときに、どのように進めていけば良いかが課題となると思われる。
	教育総務課長	年次計画等は、年度当初の課の目標に関する三役のヒアリングを受けて、課の事業として進めている。もっと大きな計画について、どのような形で取り扱うかは、総合教育会議の機会なども活用いただくことも手段のひとつであり、市長及び市長部局と強調しながら進めていければ良いと考えている。
	古市委員	教育委員会の各課でそれぞれの守備範囲の中で考えたことだけが果たして良いのか、ということであると思う。世の中は加速的に変化しているため、今までと同じことを続けているのでは、対応しきれなくなってきていると思う。今後の少子化は確実にということを念頭に入れて、まちづくりとひとづくりを一体的に考えるという意味では、総合教育会議を利用すべきである。総合教育会議においてどのようなことを議題とするべきか、教育委員会の会議の中でも話し合っていきたい。教育委員として何をすべきか考えていきたい。
	教育長	協議事項1については、よろしいか。

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第4 議案第39号 平成30年度使用小学校教科用図書採択について</p>	<p>教育長 教育長 学校教育課長</p>	<p>異議なしの声あり</p> <p>協議事項1については、承認された旨宣した。</p> <p>議案第39号については、議決部分を非公開とする。 議案第39号について学校教育課長から説明を求めた。</p> <p>羽生市は、加須市とともに第19採択地区を構成しており、共同採択地区内の教育委員会は協議の結果に基づいて同一の教科用図書を採択することとなっている。採択に向けて、教科用図書の調査研究を調査員に委嘱し、4回の会議を行って調査資料をまとめたり、羽生市、加須市の各小中学校に調査を依頼し、研究調査結果報告書を提出していただいたり、羽生市、加須市の各小学校PTA会長に調査結果の報告を求めたりしてきた。特別の教科道徳の教科用図書採択は、初めてということもあり、教科用図書展示会のときから関心が高かった。</p> <p>候補となった8社の教科用図書については、現代的な課題などの題材を教材として取り上げる工夫、発達の段階に即し深く考えさせ、狙いを達成するための工夫、考え議論する道徳を通して道徳性を育成する工夫、道徳的書価値についての理解を深めさせる工夫、自己の生き方への考えを深めさせる工夫、道徳性を育成する工夫など、様々な工夫が見られた。地域の実態、子どもの実態、教師の実態等を考慮し議論を重ね、採択地区協議会の3回目の会議において、記名投票をし、過半数の票が入った教科用図書に決定するという方法をとった。第19採択地区教科用図書採択協議会長からの通知には、選定結果と選定の主な理由が記載されている。</p> <p>選定結果は学研の教科用図書となり、選定の主な理由として、主題名を本文に掲載せず、児童や地域の実態に応じて、児童の主體的な学習を促す構成になっている。大きな絵や写真、漫画形式、学校生活でありそうな場面の挿絵を掲載しており、児童の思考を深めることができる。「いのちの教育」を最重点テーマにしており、いじめの問題など現代的な課題に係る教材が効果的に設定されて</p>

会議事件名	て ん 末	
		<p>いる。「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」「広げよう」の4種類の学び方のページを設け、自ら考えたり、意見交換しながら物事を多面的・多角的に考えたり、自己の生き方についての考えを深めたりすることができる工夫がある。教科書のサイズが大きいため、文字や絵、写真等のバランスが適切であり、児童の心を揺さぶることができる紙面構成となっている。以上の5点が挙げられている。</p>
	教育長	<p>これより、会議を非公開とする。 議案第39号について意見・質問を求めた。</p> <p>特になし</p>
	教育長	<p>議案第39号については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	<p>議案第39号については、可決された旨宣した。</p>
	教育長	<p>これより会議を公開する。 次回教育委員会日程について事務局より説明の旨。</p>
	教育総務課長	<p>8月定例教育委員会は、8月10日 午後1時30分より羽生市立図書館にて開催する。</p>
	教育長	<p>閉会を宣した。</p>

会議事件名	て ん 末	
		<p>教育長 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>書 記 _____</p>